

科目区分	専門基礎分野	科目名	医療福祉論	対象学生	第3学年																								
		単位数 (時間数)	1単位 (15H)	学 期	第2学期																								
担当講師	非常勤講師																												
科目目標	1. 社会福祉の理念および法制度に関する基礎知識を習得し、現代のトピックスについての理解を深める。 2. 医療と福祉の連携について、特に倫理的な側面について強調する。																												
授業概要	<table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>オリエンテーションおよび社会福祉の基礎理念</td> <td>(講義)</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>社会福祉の史的展開</td> <td>(講義)</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>わが国の社会保障制度</td> <td>(講義)</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>生活保護制度 – 生存権保証について –</td> <td>(講義)</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>介護保険制度 – 老後問題から老人問題へ –</td> <td>(講義)</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>障害者福祉の法体系</td> <td>(講義)</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>今後の障害福祉施策の方向性 – 障害者総合支援法 –</td> <td>(講義)</td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>終了試験</td> <td></td> </tr> </table>					第1回	オリエンテーションおよび社会福祉の基礎理念	(講義)	第2回	社会福祉の史的展開	(講義)	第3回	わが国の社会保障制度	(講義)	第4回	生活保護制度 – 生存権保証について –	(講義)	第5回	介護保険制度 – 老後問題から老人問題へ –	(講義)	第6回	障害者福祉の法体系	(講義)	第7回	今後の障害福祉施策の方向性 – 障害者総合支援法 –	(講義)	第8回	終了試験	
第1回	オリエンテーションおよび社会福祉の基礎理念	(講義)																											
第2回	社会福祉の史的展開	(講義)																											
第3回	わが国の社会保障制度	(講義)																											
第4回	生活保護制度 – 生存権保証について –	(講義)																											
第5回	介護保険制度 – 老後問題から老人問題へ –	(講義)																											
第6回	障害者福祉の法体系	(講義)																											
第7回	今後の障害福祉施策の方向性 – 障害者総合支援法 –	(講義)																											
第8回	終了試験																												
看護師国家試験出題基準	<p>概念、目的、機能、体系、ノーマライゼーション、社会保障給付費、社会保障制度改革 社会保険の変遷、国民皆保険、皆年金、福祉施策の充実、社会保障制度の見直し、介護保険と福祉の変化 ライフサイクルからみた社会保障、健康保険、国民健康保険と後期高齢者医療制度、保険給付内容と利用者負担 医療保険の財政、保険診療の仕組み、公費負担医療、国民医療費、診療報酬制度、制度の体系、給付と費用負担、雇用保険法 労働者災害補償保険法、税番号制度(マイナンバー制度) 生活保護の基本原則と実施の原則、実施期間、扶助の種類と内容 制度の基本理念、保険者・被保険者、要介護・要支援の認定、保険給付内容と利用者負担、ケアマネジメント、 介護保険の財政、介護保険事業計画、介護予防、介護サービス 障害者基本法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、 発達障害者支援法、障害者虐待の防止、障害者の擁護者に対する支援等に関する法律(障害者虐待防止法) 障害者の雇用の促進等に関する法律(障害者雇用促進法)、障害を理由とする差別の解消の促進(障害者差別解消法) 障害者の定義、自立支援給付サービスの種類、地域生活支援事業サービスの種類、利用契約サービス利用の流れ 障害支援区分の認定、利用者負担の仕組み、利用者負担の軽減措置</p>																												
授業の進め方	<p>板書にかえパソコンを使用するため、スクリーンに映し出したキーワードなどをノートに書き写しておく。 講義に加えて、福祉番組のDVDを教材として活用する。</p>																												
履修のポイント、留意事項	<p>講義が中心になるため授業に対する取り組みがそのまま評価に結びつくと思われる。 自己責任に基づく意欲的な態度を期待する。</p>																												
テキスト	<p>最新 介護福祉士養成講座② 社会の理解 中央法規出版 その他、資料を適宜配布する。</p>																												
評価方法・配点	<p>終了試験 (100点)</p>																												